

アンケート結果から

四小学童クラブ

調査方法

福祉系 高齢者から乳児院まで幅広く調査を実施している「株式会社 ウェルビー」さんへ調査を依頼しました。

学童クラブに通う児童の保護者の皆様にアンケートを配布、記入後に、封をした回答を直接評価機関へ返信いただきました。児童に対しては、学童クラブ内で職員が説明し、個々に記入し、児童が封筒にアンケートを入れて封をし、ピッコロ本部がまとめて調査会社へ郵送する方法で実施しました。

【アンケート総評】

全体的には支援員の対応について丁寧・優しいという回答が9割以上ありました。支援員は日頃から丁寧な対応をしていることがわかります。

「どちらともいえない」と回答した保護者も、「オセロ大会やけん玉週間など、イベントがあり良い」とか「けん玉は頑張りが一目でわかるように貼りだされていました。」と好意的な自由記載があった。

おやつについては、メニュー表になってわかりやすい、子どもが楽しみにしているという回答がある一方、家庭では避けているチョコレートが出るのが残念とか以前のようにお楽しみ感覚のおやつでも良いのでは？という少数意見もありました。

児童アンケートでは3割以上がおやつの時間を「嫌い」「わからない」と回答している。

防犯、防災に対する説明や苦情窓口の説明がやや丁寧にされていないと感じている保護者がいること、学童クラブの遊びや活動・行事に対して工夫していると回答した保護者が100%であり、職員に対しても93%以上が相談のしやすさや対応について評価されている。

【課題】

「防犯対策について」と「苦情窓口について」の説明は分からない、何をしているのか分からない、との記述があった。

【対策】

4月1日に「児童安全のために」を全家庭へ配布しております。

その中に、

- ① 台風・悪天候（運動会中止等）の場合災害のとき

- ② 大規模地震に備えて
- ③ 不審者（防犯）対策
- ④ 健康・安全
- ⑤ 一斉下校。集団下校について

が掲載されております。

学童クラブの支援員は、救急救命講習会や防犯の勉強会を毎年行っております。また、各学童クラブの主任が防火・防災管理者の講習会を受講しており、主任が中心になって非常時の対応について防災計画書を作成し、職員の役割もきまっております。

毎月、避難訓練の実施と報告を消防署にしております。

このようなことも保護者の方へお伝えしていきたいと思っております。

【課題】

保護者の方からのアンケートで、子どもから聞いたのですが、アレルギーのある生徒さんがお昼ご飯などの際、黒い布で囲まれていると言うのですが、黒でなくてもいいのでは？生徒さんは寂しくないのでしょうか？

【対策】

黒い布ではなく、紺色のパーテーションで区切っています。理由としては重篤なアレルギーをお持ちのお子さんがアレルゲンと接触するのを避けるためです。学校では別室で給食を食べているとのことですが、学童はワンフロアしかなく別室対応ができない為、パーテーションで区切り別空間を作るようにしています。パーテーションをすることでお子さんが不安にならないように職員も常に声掛けをするなどの配慮をしています。

他のお子さんたちにも、アレルギー児童への対応の理解を促すために説明をしていきたいと思っております。

【課題】

おたより（連絡帳）や職員との会話などからお子さんの様子が保護者の方からのアンケートで、学童の様子が分からないとの意見がありました。

【対策】

限られた時間での連絡帳への記入で、お伝えしきれない部分があったかと思えます。お迎えの保護者の方へは口頭でお伝えできることもあります。申し訳なかったと思えます。今後、学童だよりを活用して日々の様子もプラスしてお知らせするようにしたいと思います。

また、お迎えにいらしていただいたときは、より話しやすい雰囲気を心がけたい

と考えます。

【課題】

おやつについて保育園のように調理することが難しい中で、工夫しているという声もありますが、「夕食が待てず間食する」「晩ご飯が食べれないこともあった」などのおやつの量に対しての意見もありました。その中でも、子どもがほとんどまずいと言っているという意見や児童アンケートからのおやつにうまい棒ができればいいな～、リクエストおやつという意見もあります。

【対策】

おやつについては、保育園のように手作りできたらと考えておりますが、調理器具は全く無く、そして、職員数のことも考えるとすぐには実施出来ない状況もあります。子どもの「うまい棒が食べたい」「リクエストおやつ」という意見も聞きながら、学童クラブで実践している大学の先生の研修会に支援員の皆さんと学んで、何ができるか、どうしたらできるか一緒に改善していきたいと考えています。

【課題】

虫取りなどできる自然あふれた環境を維持していただき、もう少し広い場所で遊べる環境を、できたら校庭で遊べたらいいなあというご意見がありました。

【対策】

晴れた日は、学童クラブの庭で外遊びをしています。人数も多く、自由に走り回っての環境にはないと日々感じているところです。4月からは定員の1割増しの66名が入所してきます。ぜひ、小学校さんのご協力を得て、校庭で遊ぶ時間をいただけたら嬉しく思います。

また、せせらぎ公園に隣接しており、自然あふれた学童クラブでもあります。そういう特色を活かしながら、土曜日の子どもの人数が少ないところから、せせらぎ公園散歩なども実施していきたいと考えております。

【課題】

1年生で初めて4月に入所した時に先生の自己紹介はあったけれど1～4年の子ども達は自己紹介がなく、名前もわからないと不安がっていたというご意見。

【対策】

4月始めに自己紹介を取り入れていきたいと思っております。

【課題】

遊びについては少し古いような気がします。オセロ、将棋、けん玉とか…。また、コロナ対策でボードゲームが出来なくなったと聞き、残念。

【対策】

昔あそびも引継ぎながら、新しい遊びも取り入れていきたいと考えております。「あそび」が主食といわれるほど、学童の中で成長発達していく子どもにとって「あそび」は大切です。遊び道具にとらわれない本物の「あそび」について、令和4年度からは専門の先生に支援員も学び、子どもも専門の先生と実際に遊んでもらいながら、「あそび」を獲得していけたらと考えています。

遊びの制限についてですが、学童クラブで陽性者が出たときに濃厚接触者の特定ができるまで行ったことがあります。現在はこまめな消毒を行うことで制限はしていません。

【課題】

クッキーってなんで出ないの？（児童アンケート）

【対策】

卵が入っていないクッキー、ミレービスケット、クリームサンドは出ています。おやつメニューが出来たことでいろいろなおやつが取り入れられたので出る回数は少なくなった可能性があります。今後リクエストがあれば取り入れていきたいです。